

7月19日(金)終業式

今日で一学期終了です。とは言っても、夏休みにこそ頑張ろうと思っている生徒も、たくさんいると思います。補習や合宿、部活動など。そして3年生の進路も、いよいよここからが勝負ですね。

松浦高校では例年、3年生のうち約三分の一が就職します。今でこそ世の中の景気が悪くないので、たくさんの求人票が送られてきます。今年は40名弱の就職希望者に対して、求人票が千件以上送られてくるだろうと思われるかもしれません。単純に計算すると、一人あたり30社の中から受験する会社を選ぶことが出来る計算になります。

ところが以前世の中が不況で、どこの会社も新しい新入社員など採用する余裕のない時期もありました。本当に頭を抱えるぐらい、求人票が来なくて、高校生の就職先どころか受験先さえ見つからない時期もありました。そんな時、高校の先生方は、どこか求人票を出してくれる会社はないかと、高校生に代わって、たくさんの企業を訪問し、うちの学校の生徒を何とか採用してくださいと、頼んで回っていた時期もありました。以前ある就職担当の先生に伺ったのですが、そんな時どこの会社でも、『この景気の悪い時期に、新入社員など受け入れる余裕はないよ』と、ほとんどの会社から断られていたそうです。そんな中で『わかりました。先生がそんなに言うなら、うちも苦しいけど、一人採用しましょう』と言ってくれる企業があると、飛び上がるぐらい嬉しかったと、語っていました。そして、そんな不況の時期にも関わらず採用してくれた会社に、感謝したそうです。ですから、そんな事情を知っている生徒の方も、採用後にすぐやめてしまったら、会社に対しても学校に対しても申し訳ない、自分がやめてしまったら後輩にも迷惑がかかると、歯を食いしばって頑張っていたそうです。

その後、比較的景気がよくなって、どこの会社も求人票を出せるようになりました。しかしその苦しい時期に採用してくれた会社のことを知っている先生は、生徒に対して、『この会社は本当にいい会社だよ』と、勧めていたそうです。人と人とのつながりって、本当に大切だと、私は実感しました。

今はいろいろな会社の方が、高校に対して、求人ということで来られます。ある企業の人事担当の方と話したことがあります。『高校訪問をして、何を見るものですか?』と聞いたことがあります。その方は『やっぱり、在校生の様子・雰囲気を見ますね』と言われていました。夏の時期ですから、窓越しに教室の中の様子が見えます。『生徒が一生懸命授業を受けているか・あいさつを元気よくしてくれるか、そういったところはやはり気になりますよ』と言われていました。一方で、『休み時間だからと言って、大きな声でふざけていたり、下品な声を上げていたりすると、やっぱりちょっと残念な気持ちになります』とも言われました。それがそのまま採用試験に影響するとは言えないと思いますが、学校帰りにコンビニによってたむろしたり、店の前にしゃがみ込んで大きな声を上げながらものをむしゃむしゃ食べていたりすると、やっぱり見ている人はしっかり見ているのだと思います。

就職ばかりでなく、大学受験でも似たような例はあります。

しかし、大学受験の話まですると話が長くなってしまいますので、また別の機会にします。

日頃から自分に出来ることを、精一杯頑張ること。毎日毎日の生活をしっかりしたものにすること。

そして、人と人との出会いを大切にすること。支えてくれている周囲の人の思いを、大事にすること。

どちらも、すごく大切なことだと、私は思います。

松高生のみなさん、一人ひとり充実した夏休みを過ごしてください。事故や事件に遭うことがないように、十分注意して下さい。

そして、8月9日・8月21日、元気なみんなと会いたいと思っています。元気な笑顔の松高生と会いたいと思っています。